

あかるいまち 21



2012 国際協同組合年

ホームページはこちら♪→<http://www.hch.coop/>

組合員活動ニュース No.595

2011年11月4日(金)

広島中央保健生活協同組合

組織部 TEL082-532-1264

FAX082-532-1267

生協強化月間中の到達(9/26-11/2)は、仲間ふやし330名、出資金ふやし14,697千円になりました～☆11/2の仲間ふやし13人でした！ちなみにその前日11/1は20名！月間の折り返しダッシュお見事!! 今回は10/30に福島県で開催された「なくせ!原発 10.30大集会 in ふくしま」の様子をお送りします☆ けんこうまつりの参加協力券販売、福島生協病院検査科が52枚を普及したとの情報を頂きました。各支部もがんばっています。中央ブロック地域では450枚超という報告を頂いています。引き続きご協力よろしくお願ひしますm(_ _)m

	月間目標 (年間目標の8割)	月曜の成果 (11/2)	月間中の到達 (9/26～11/2)	今期の到達 (4/1～11/2)
仲間ふやし(人)	2,080	13	330	1,238
出資金ふやし(千円)	128,000	256	14,697	62,388

「なくせ!原発 10.30大集会 in ふくしま」 全国から1万人を超える参加者が集う!!(10/30)

10月30日午前11時、福島に到着。行きのシャトルバスで、藤原先生、県連の花岡事務局長といっしょになりました。福島駅から西方面へ約30分で会場の四季の里に到着。野外の会場広場には、全国からノボリ旗を持った参加者がぞくぞくと集まってきていました。ステージでは、歌や地元の伝統芸能などを披露して参加者を迎えていました。天気は曇り、気温は広島と同じくらいで寒くはありませんでした。模擬店や物産展のテントがたくさんならんでいましたがごった返してゆっくり見られませんでした。復興なべが5,000食用意されていましたが早々になくなっていました。



【壇上あいさつ】



【集会後のパレード】

13時から集会が始まり、ステージの壇上から10名の方々からあいさつや訴えがありました。最も印象に残ったのは、福島県浪江町町長の「除染を急ぎ、元の生活に」という声をからしての切実な訴えでした。「町民21,000人は、県内に14,000人、県外に7,000人が避難している。『いつ戻れるのか?』『もう戻れない。どこかへ新しい町を作ることになるのか』様々な町民の声が届いている」「この事態をつくったのは東京電力だ。国策として原発を推進

した国の責任もある。」また、国会議員のあいさつのなかで、除染と賠償の費用をどうするか、「電力業界は核燃料サイクル計画などを推進するための基金=「原発埋蔵金」を持っている。19兆円を積み立てる計画で、すでに4.8兆円の積立金残高がある。この基金を使って徹底除染と全面賠償を執行させよう」の訴えに大きな拍手が起きました。

「なくせ!原発 ふくしま大集会」には、全国から1万人余の参加がありました。新聞やテレビニュースでしか見聞きすることがなかった地元住民の「安心して住み続けられる福島を!」の叫びや訴え、特にお母さんや小さな子どもたちの震える疲れ果てたしかし心に響く確かな訴えは強く強く伝わってきました。原発推進の巻き返しや東電の上から目線の態度に怒りがこみ上げてきました。集会後のパレードは、会場の周辺を2コースに分かれて行なわれましたが行列の長さにはびっくり仰天でした。「なくせ!原発」の世論を大きく広げていく決意で声をあげてきました。【組織部長 藤原】



広島中央保健生活協同組合